

# 公立芽室病院におけるリハビリテーションの 今後の方針について（2025.11 策定）

## 1. 現状の課題

- 提供量の不足：現在のスタッフ数では、患者様一人ひとりに十分な量のリハビリテーションを提供できていません。
- 治療の継続性：土日祝日はリハビリテーションが中断されるため、患者様の回復に遅延が生じる可能性があります。
- 在宅支援の限界：退院後にご自宅でのリハビリを希望される地域住民の皆様の需要に十分に応えられていない状況です。

## 2. 計画

1. 365 日リハビリ体制の実現：土日祝日もリハビリを提供し、治療を中断させないことで、患者様の回復を加速させます。
2. リハビリ提供量の増加：スタッフを増員し、患者様一人一人に対して、より手厚く集中的なリハビリテーションを実施します。
3. 訪問リハビリの拡充：訪問リハビリ担当者の配置を強化し、入院から在宅まで切れ目のない支援体制を構築します。
4. 病院経営への貢献：サービスの提供量を増やすことで、リハビリテーション部門の収益を向上させます。

## 3. 期待される効果

### 患者様にとって

- ・機能回復が早まり、より早期にご自宅へ退院することが可能になります。
- ・入院中から退院後の生活まで、一貫性のある質の高いリハビリテーションを受けられます。

### 病院にとって

- ・リハビリテーション部門が安定した収益源となり、病院経営に貢献します。
- ・患者様の平均在院日数が短縮されることで病床の回転率が向上し、より多くの新規患者様を受け入れることが可能になります。

### 職員にとって

- ・個々の業務負荷が適正化され、働きやすい環境が整備されます。これにより、専門職として質の高いサービス提供に集中でき、人材の定着促進にも繋がります。

### 地域にとって

- ・地域住民の皆様の健康寿命の延伸と生活の質の向上に貢献し、地域医療を支える公立病院としての役割をさらに強化することができます。